

高校生・高専生 八代の未来提案



八代の地域課題研究の成果を発表する八代東高の生徒たち（左）6日、八代市

八代の地域課題研究に取り組んだ八代東高と熊本高専八代キャンパスの生徒9人が6日、八代市の桜十字ホールやつしろで小野泰輔市長らに成果を披露した。

日本青年会議所九州地区熊本ブロック協議会が同日開いた熊本ブロック大会で発表し、会員や市民約250人が聞いた。

八代東高生はクルーズ船を利用する外国人客の滞在時間延長のため、マップや観光名所、イベントをまとめた「観光周遊パスポート」の販売を提案。3年

地域課題の研究 成果発表

の米村静珠^{つぐみ}さんは「八代の魅力を知るきっかけになった。今後も地域の良さを見つけない」と話した。

熊本高専生は市中心部の活性化のため、空き店舗を利用したコワーキングスペース開設を提案。2年の宮崎陽さんは「中心部の街並みに関心があった。昔のような活気ある場所にしたい」と強調した。

小野市長は「若い世代の皆さんが、もっと社会問題を発信してほしい」と呼びかけた。

（水田智）